

SSH講演会を開催ー人間とAIが共生する時代へー

6月7日（木）午後、本校体育館でSSH講演会を開催しました。本校は、文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けています。SSHは、1期の指定期間が5年間です。本校は、現在2期目の2年目ですので、通算すると7年目になります。本日は、2期目の柱である「論理力・探究力の育成」の一環として講演会を企画しました。講師の先生は、日本IBM株式会社東京ソフトウェア開発研究所Watson製品開発グループの野村有加さんでした。野村さんは、お茶の水女子大学理学部情報科学科を卒業後、東京大学大学院学際情報学府を修了されました。何と、現代の魔術師落合陽一さんと同じ学際情報学府の出身です。2009年に日本IBMに入社され、ソフトウェア製品開発に従事され、現在はIBMのAIである「Watson（ワトソン）」関連製品の開発をされています。また、趣味でコミュニケーションロボットPepper（ペッパー）のアプリ開発を楽しんでおられるそうです。

本日の演題は、「人間とAIが共生する時代へ ～AIと「楽しく」付き合っていくには？～」でした。1年次～6年次の生徒たちが興味津々の表情で聴いていました。途中、私の書いたホームページの校長挨拶文から「Watson」が性格分析をするというコーナーがありました。私の性格特性は「分析好きなタイプであり、また独特なタイプです……」でした。また、野村さんのつくったアプリでPepperがラップを刻むという余興もありました。その題材もその校長挨拶文だったので、生徒たちには、大ウケでした。60分間の講演のあと、35分間質問が絶え間なく続きました。前期生の素朴な質問、後期生の高度で哲学的な質問などがありました。普段の「アクティブ・ラーニング」のお蔭で、「質問力」もついてきているようです。「中学高校時代には、何をすべきだと思いますか？」という質問に対し、野村さんは「失敗することを経験してください。」という素晴らしい回答をくださいました。今日の講演でAIのイメージが「恐怖」から「友達」に変わった人が多かったと思います。下の写真のメッセージをもう一度読んでください。

